

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価書】

中学校区におけるめざす子ども像
◎自分の考えを伝えあい、学びを深め、その知識を活用することができる子 ◎互いに認め合い協力し合う子 ◎自他の体を大切にし健やかでたくましい子

堺市立 陵南中 学校
校長 櫻井 出

令和7年度 重点目標
1..挨拶が響き渡る元気な学校
2..健やかな心と体をつくりしっかり学び合い、みんなが楽しい学校
3..タブレット・生徒用端末のさらなる活用

確かな学びの現状
静謐な学習環境を継続し、グループ学習など学び合いを大切に学習に取り組んでいく。また、自分の考えを発表し、人の考えを聞くことにより「問題解決力」をはぐんでいく。その中で教員の授業力向上に向けた取り組みも進めていく。
今年度は、これまでの取り組みをもとにして、自ら学びに向かう姿勢の育成をすすめ学力の向上にもつなげていきたい。

豊かな心・健やかな体の現状
9割の生徒が、学校に行くのが楽しいと答え、体育大会や文化活動発表会、学年行事などに一生懸命に取り組んでいる。また、子どもたちの読書習慣には課題があり、委員会活動も含め見直していく。
スマートフォンや携帯などを使ったインターネット、ゲームなどの割合が年々増加している。SNSの使用に関するトラブルも心配される。
部活動への入部率は毎年8割を超え、運動部、文化部ともに生徒自らが積極的に活動し、部活動に関する関心も高い。今後は部活動の地域移行に向けても取り組みを進めていく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	授業の工夫改善	生徒が主体的・対話的な深い学びに向かう授業を推進し、『わかる授業』の追求をし、授業力の向上に努める	●研究授業や研修、タブレット・生徒用端末の活用により指導技術の向上を図る。	「授業はわかりやすい」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	△	・学校教育アンケートの肯定率が80%であった。	○ ・少人数授業や習熟度別学習については継続して取り組んでもらいたい。 ○ ・先生によつての違いをできるだけなくしてほしい。 ○	
			少人数授業や習熟度別学習、主体的・対話的な深い学びを推進し、生徒の言語活動の充実を図る。	「少人数授業や習熟度別授業はわかりやすい」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	○	・学校教育アンケートの肯定率が88%であった。 ・合同研修と相互の授業参観に加え、小学校の人間学習交流会を中学校で行った。		
			★小中合同研修や相互の授業参観を行こなう。		職員アンケート	3学期	○ 合同研修と参観を実施した	○			
	家庭学習の定着	家庭での学習習慣を定着させる	★「小テスト」の実施や「週末課題」等を工夫し、自ら学習する習慣をつけさせる。 ★小中一貫教育推進のため、小学校と連携した「学びの連続性」を追求する。	「家庭での学習時間が増えた」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	計画通り実施している 人間学習交流会を中学校で行った。	△ ○	・学校教育アンケートの肯定率が2ポイント下がり、69%であった。 ・学校群に向けた取り組みを今後も継続して行っていきたい。	△ ○	・小テストや課題を増加することで学習習慣や学習量を増進させればよい。
豊かな心・健やかな体	社会性の向上	社会のルールを守る態度を育成する	あいさつを奨励し、社会性を身につけるさせる。	「よくあいさつをしている」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	△	・学校教育アンケートの肯定率が2ポイント下がり、80%になった。	○	
			●物事の善悪を理解し、社会のルールを守る態度を育成する。	「先生ははじめや問題行動に真剣に対応している」の保護者の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	△	・学校教育アンケートの肯定率が8ポイント下がり、74%になった。		
	生徒活動の充実	・主体的な生徒活動の実践を図る ・清掃活動やファームの充実	生徒の自主活動を高め、学校生活を充実させる。	「生徒会活動や委員会活動、部活動ががんばっている」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	○	・学校教育アンケートの結果が昨年と同じ85%であった。 ・学校教育アンケートの肯定率は3ポイント下がり、86%であった。	○	
			清掃活動やボランティア活動(ファーム)を充実させる。	「学校をきれいにしよう、清掃活動等をがんばっている」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	○	・学校教育アンケートの肯定率は昨年と同じ24%であった。6月から全員喫食の給食が始まり、休みの図書館へ行く生徒が減少している。		
読書活動	・朝の読書タイムの充実	環境づくりと適切な助言を行う。	「普段、1日あたり30分以上読書をしている」の肯定率。	学校教育アンケート	3学期	アンケート集計中	×		△	○	・朝読の復活によって子どもたちの読書も機会を増やしていただきたい。
開かれた学校	HPの充実	学校の情報を適切に公開し信頼される学校づくりをめざす	適切な情報を日々発信し、アクセス数を増加させる。	アクセス数を昨年度と比較する	学校教育アンケート アクセス数	3学期	○ 日々の情報を発信している	△	・テトルでの情報発信は昨年度と同様に行えている。 ・ホームページのアクセス数は増加傾向である。		

校長より(年度末)
令和7年度においては、3学年とも生徒指導上の問題行動が少なく、学校全体として落ち着いた教育活動を行うことができた。また、3年生を中心として、文化活動発表会や体育大会など学校全体で行う行事も成功させることができた。その結果、子どもたちの自己肯定感も高まったように感じている。この流れを継続して、次年度以降の教育活動につなげていきたい。また、学力向上の取り組みについては、まだまだ成果が出ていない部分がある。今後はテスト結果の分析をしっかりと行い、組織的な取り組みを推進していきたい。ICTの取り組みについても、今後も継続して取り組んでいきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
少しずつであるが、学力向上の取り組みが進んでいるように感じている。子どもたちが良い環境で学習活動など取り組んでいると考えられるので、今後も継続して取り組んでいただきたい。